

令和5年度いしかわプラスチックリサイクル促進モデル事業 実施結果の紹介



ユニベール株式会社 ・ 株式会社 ラポート

カーテンからカーテンへ 完全循環リサイクル事業

事業概要・目的

カーテン縫製時に排出される端材や使用済カーテン製品においては、現在、衣料のような完全循環リサイクルが成立していない。その理由としては、カーテン生地には様々な添加剤が含まれており、リサイクルへのハードルが高いことがある。今回、ユニベール（株）・（株）ラポートのカーテン製造販売専門企業の特徴を生かし、生産時に発生するカーテン端材（ポリエステル素材）から遮光カーテンに使用する黒カーボン糸（汎用糸）を再生し、再びカーテンを製造する事業を行った。

カーテンの完全循環リサイクル事業が実現すれば、カーテン業界全体への波及効果が期待できる。

事業の効果

ポリエステル製カーテン縫製時に排出される端材および使用済カーテン製品の廃棄量の削減のほか、新たなカーテンを製造する際に使用する資源使用量の削減や二酸化炭素排出量の削減効果がある。

事業結果

カーテン端材から、遮光カーテンに使用する黒カーボン糸の生産に成功した。引き続き、織物化にも成功することができた。総じて、大きな課題はなく、各工程の諸条件を調整することによって、より品質の良い、リサイクル素材使用率の高いカーテンを再生することができる。

今回得られた課題を踏まえ、端材から再生したカーテンの継続的な販売に向けて検証を行っていく。今後、製品化が実現した際には、カーテン由来ポリエステル〇〇%使用とパッケージに印字し、リサイクル製品として販売予定。また、小売業者を巻き込み、他社製品も含んだ廃カーテンの店頭回収を行っていくとともに業界全体に本モデル事業を普及させ、数年後にはカーテン端材&製品（店頭回収品や返品物）の混載生地をペレット⇒糸への加工に挑戦していく。

モデル図

